

原因からみる海難 その4 **見張り不十分**

海難原因で一番多いのは？

■ 過去5年間に発生した海難（698隻）の原因で一番多いのは「**見張り不十分**」（133隻）です。

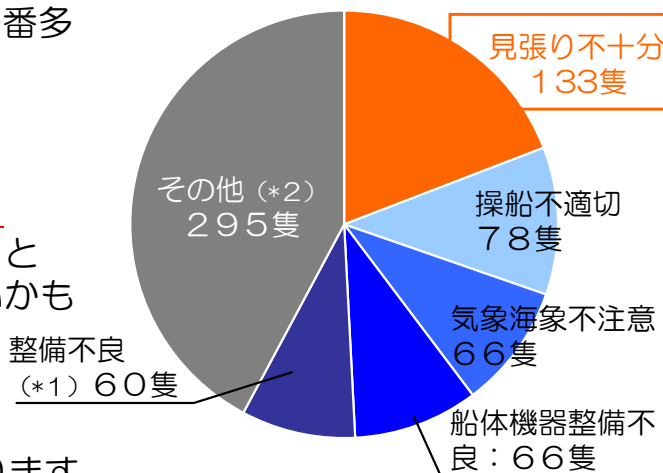
衝突の危険は常にあります！

■ 操業や釣りの最中、**周りをちゃんと見ていますか？**
相手船を発見しても安易に「向こうが避けるだろう」と
思っていませんか？ 相手はこちらに気付いていないかも
しれません！

常に適切な見張りを！

■ 夏場になると船の往来が増え、衝突の危険が高まります。
周囲の状況や衝突のおそれを十分判断できるよう、
常に意識して**適切な見張りを行いましょ**う。

海難の主原因（H19～H23）



*1 エンジンの整備不良

*2 居眠り、積付不良、異常気象など

海の道しるべ その1

航路標識は、船舶が安全かつ能率的に航行するために設置されている海の「道しるべ」です。

それぞれの**役割を正しく理解**して事故のない安全な航海に努めましょう。

航路標識の中でも最も多く設置されている灯台の種類と役割について比べてみても、以下の様に分けられます。

※灯台、灯浮標など光を発するものを**光波標識**といいます。

沿岸灯台



主な役割

- ・ 2つの灯台により自船の位置を確認
- ・ 陸地へ誘導

構造など

- ・ 鉄筋コンクリート製が主体
- ・ 大きなレンズ、明るい光源を採用
- ・ 主に商用電源を使用し、停電対策として非常用電源を持つものが多い

防波堤灯台



主な役割

- ・ 港への誘導
- ・ 防波堤の先端を明示

構造など

- ・ 鉄筋コンクリート製の他にFRP製等がある
- ・ 近年はLED式光源の採用を進めている
- ・ 主に太陽電池装置により電力を供給

5月の海難隻数及び海難による死者・
行方不明者数（速報値）

9隻、0名 平成24年累計（速報値）
35隻、4名